



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日

上場会社名 東洋製罐グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 5901 URL <https://www.tskg-hd.com/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大塚 一男
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 浅田 真一郎 TEL 03-4514-2001
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	235,349	4.3	7,532	△5.3	11,858	△16.3	8,454	△23.6
2023年3月期第1四半期	225,595	12.9	7,952	△47.3	14,168	△17.3	11,061	△8.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 14,165百万円 (△32.9%) 2023年3月期第1四半期 21,115百万円 (29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	46.56	-
2023年3月期第1四半期	60.92	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,183,594	677,020	54.8
2023年3月期	1,165,216	671,338	55.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 648,337百万円 2023年3月期 643,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	44.00	-	45.00	89.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	45.00	-	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	495,000	9.8	12,500	76.7	13,000	△18.2	8,500	△31.8	46.81
通期	950,000	4.9	23,000	210.9	25,000	81.5	16,500	59.2	90.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	182,862,162株	2023年3月期	202,862,162株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,273,585株	2023年3月期	21,273,276株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	181,588,698株	2023年3月期1Q	181,570,486株

（注）当社は、2022年3月期第2四半期連結会計期間より役員向け株式交付信託制度を導入しており、当該信託が保有する当社株式（496,900株）を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年6月30日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、経済社会活動の正常化が進む中で、景気に持ち直しの動きがみられました。一方、先行きは、ウクライナ情勢の長期化、物価の上昇や為替相場の急激な変動により、不透明な状況にあります。

このような環境下におきまして、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
売上高	225,595	235,349	9,753	4.3%
営業利益	7,952	7,532	△419	△5.3%
売上高営業利益率	3.5%	3.2%	△0.3%	—
経常利益	14,168	11,858	△2,310	△16.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,061	8,454	△2,606	△23.6%

売上高は、包装容器事業を中心に原材料価格高騰分の転嫁を進めたほか、為替の影響により、2,353億49百万円（前年同期比4.3%増）となりました。利益面では、原材料・エネルギー価格等の高騰に対して売価転嫁やコストダウンに努めたものの、機能材料関連事業において磁気ディスク用アルミ基板の販売が市況悪化の影響で減少したことにより、営業利益は75億32百万円（前年同期比5.3%減）となりました。経常利益は、持分法投資利益の減少により、118億58百万円（前年同期比16.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は84億54百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

各セグメントの営業の概況は次のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメント等	売上高（外部顧客）				営業利益			
	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減率
包装容器事業	138,357	151,081	12,724	9.2%	993	4,386	3,392	341.5%
エンジニアリング・ 充填・物流事業	43,502	46,500	2,998	6.9%	2,220	1,898	△322	△14.5%
鋼板関連事業	22,700	22,265	△435	△1.9%	2,167	1,364	△802	△37.0%
機能材料関連事業	13,665	7,953	△5,712	△41.8%	1,815	△191	△2,007	—
不動産関連事業	1,915	1,928	13	0.7%	1,119	1,055	△64	△5.7%
その他	5,454	5,619	165	3.0%	138	101	△37	△26.7%
調整額	—	—	—	—	△502	△1,081	△578	—
合計	225,595	235,349	9,753	4.3%	7,952	7,532	△419	△5.3%

〔包装容器事業〕

売上高は1,510億81百万円（前年同期比9.2%増）となり、営業利益は43億86百万円（前年同期比341.5%増）となりました。

①金属製品の製造販売

国内・海外において原材料価格高騰分の転嫁を進めたほか、国内において、ビール・チューハイ向けの空缶で新製品の受注があったことに加え、コーヒー向けの空缶が増加したことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

②プラスチック製品の製造販売

洗剤向けなどのボトルが減少しましたが、お茶類向けのペットボトル・キャップなどで原材料価格高騰分の転嫁を進めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③紙製品の製造販売

原材料価格高騰分の転嫁を進めたほか、コロナ禍において減少していた人流の回復にともない、飲料コップが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

④ガラス製品の製造販売

原材料価格高騰分の転嫁を進めたほか、コロナ禍において減少していた人流の回復にともない、飲食店向けでジョッキなどのハウスウェア製品が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

〔エンジニアリング・充填・物流事業〕

売上高は465億0百万円（前年同期比6.9%増）となり、営業利益は18億98百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

①エンジニアリング事業

前年に脱プラスチックによる世界的な飲料缶需要の拡大を受けて大きく増加した海外向けの製缶・製蓋機械の販売が反動を受け減少しましたが、為替の影響により、売上高は前年同期を上回りました。

②充填事業

国内において、飲料充填設備を新たに稼働させたことにもない、お茶類の充填品が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

③物流事業

貨物自動車運送業および倉庫業などの売上高は、前年同期並となりました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は222億65百万円（前年同期比1.9%減）となり、営業利益は13億64百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

鋼板関連事業の売上高は、原材料価格等の高騰分の転嫁を進めましたが、販売数量が減少したことにより前年同期を下回りました。

電気・電子部品向けでは、車載用二次電池材が増加しました。

缶用材料では、輸出向けが減少しました。

自動車・産業機械部品向けでは、駆動系部品材が減少しました。

建築・家電向けでは、バスルーム向け内装材が増加しました。

〔機能材料関連事業〕

売上高は79億53百万円（前年同期比41.8%減）となり、営業損失は1億91百万円（前年同期は18億15百万円の営業利益）となりました。

磁気ディスク用アルミ基板では、データセンター向けのハードディスク用途で販売数量が減少したことにより、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

光学用機能フィルムでは、フラットパネルディスプレイの市況悪化の影響を受け、売上高は前年同期を下回りました。

その他、顔料が増加しました。

〔不動産関連事業〕

オフィスビルおよび商業施設等の賃貸につきましては、売上高は19億28百万円（前年同期比0.7%増）となり、営業利益は10億55百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

〔その他〕

自動車用プレス金型・機械器具・硬質合金および農業用資材製品などの製造販売、石油製品などの販売および損害保険代理業などにつきましては、売上高は56億19百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は1億1百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産、負債および純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1兆1,835億94百万円となりました。売上債権や棚卸資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ183億77百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、5,065億74百万円となりました。借入金や仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べ126億96百万円の増加となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、6,770億20百万円となりました。その他有価証券評価差額金の増加などにより前連結会計年度末に比べ56億81百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.2%から54.8%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	99,704	97,875
受取手形、売掛金及び契約資産	229,221	232,624
電子記録債権	31,630	37,711
商品及び製品	123,630	127,056
仕掛品	23,096	26,188
原材料及び貯蔵品	51,581	51,804
その他	38,133	36,542
貸倒引当金	△3,299	△3,289
流動資産合計	593,697	606,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	117,205	118,258
機械装置及び運搬具（純額）	133,431	135,490
土地	81,338	81,501
建設仮勘定	26,966	24,467
その他（純額）	15,006	14,864
有形固定資産合計	373,948	374,582
無形固定資産	25,124	24,299
投資その他の資産		
投資有価証券	124,087	131,799
退職給付に係る資産	21,411	21,557
繰延税金資産	12,548	9,247
その他	17,891	19,324
貸倒引当金	△3,492	△3,732
投資その他の資産合計	172,446	178,196
固定資産合計	571,519	577,079
資産合計	1,165,216	1,183,594

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	120,243	122,593
短期借入金	54,309	70,461
未払法人税等	3,490	3,563
汚染負荷量賦課金引当金	100	81
その他	112,760	105,651
流動負債合計	290,903	302,350
固定負債		
長期借入金	125,029	124,117
繰延税金負債	8,298	8,409
特別修繕引当金	5,400	5,680
汚染負荷量賦課金引当金	2,085	2,085
役員退職慰労引当金	1,212	1,260
役員株式給付引当金	191	209
退職給付に係る負債	49,070	49,799
その他	11,687	12,661
固定負債合計	202,974	204,223
負債合計	493,878	506,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,094	11,094
資本剰余金	11,468	11,468
利益剰余金	586,252	549,764
自己株式	△38,946	△2,197
株主資本合計	569,869	570,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,335	47,120
繰延ヘッジ損益	10	48
為替換算調整勘定	25,719	26,103
退職給付に係る調整累計額	5,115	4,934
その他の包括利益累計額合計	73,181	78,207
非支配株主持分	28,287	28,682
純資産合計	671,338	677,020
負債純資産合計	1,165,216	1,183,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	225,595	235,349
売上原価	198,455	206,933
売上総利益	27,140	28,415
販売費及び一般管理費	19,187	20,882
営業利益	7,952	7,532
営業外収益		
受取利息	100	236
受取配当金	792	883
為替差益	2,975	3,096
持分法による投資利益	2,531	649
その他	1,330	1,408
営業外収益合計	7,730	6,274
営業外費用		
支払利息	173	578
固定資産除却損	308	205
その他	1,032	1,165
営業外費用合計	1,514	1,949
経常利益	14,168	11,858
税金等調整前四半期純利益	14,168	11,858
法人税等	2,873	3,215
四半期純利益	11,294	8,643
非支配株主に帰属する四半期純利益	232	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,061	8,454

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	11,294	8,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,048	4,812
繰延ヘッジ損益	33	38
為替換算調整勘定	6,407	670
退職給付に係る調整額	△108	△176
持分法適用会社に対する持分相当額	1,440	177
その他の包括利益合計	9,821	5,522
四半期包括利益	21,115	14,165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,815	13,480
非支配株主に係る四半期包括利益	1,300	684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月7日付で、自己株式20,000,000株の消却を実施し、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ36,749百万円減少している。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、利益剰余金が549,764百万円、自己株式が2,197百万円となっている。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	138,357	43,502	22,700	13,665	1,915	220,141	5,454	225,595	—	225,595
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,296	11,655	5,942	2	360	19,257	1,534	20,792	△20,792	—
計	139,654	55,157	28,642	13,668	2,276	239,399	6,989	246,388	△20,792	225,595
セグメント利益	993	2,220	2,167	1,815	1,119	8,316	138	8,454	△502	7,952

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△502百万円には、セグメント間取引消去3,194百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,697百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	包装容器 事業	エンジニア リング・ 充填・物流 事業	鋼板 関連事業	機能材料 関連事業	不動産 関連事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	151,081	46,500	22,265	7,953	1,928	229,729	5,619	235,349	—	235,349
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,345	13,006	6,075	14	359	20,801	1,834	22,635	△22,635	—
計	152,427	59,506	28,340	7,967	2,288	250,530	7,453	257,984	△22,635	235,349
セグメント利益又は損失 (△)	4,386	1,898	1,364	△191	1,055	8,512	101	8,614	△1,081	7,532

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用プレス金型、硬質合金及び損害保険代理業等を含んでいる。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,081百万円には、セグメント間取引消去3,128百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,209百万円が含まれている。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用である。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。